

新型ポータブル装置導入に伴うアンケート報告

○辻 孝純¹⁾、小島 明彦¹⁾、山内 聡¹⁾、小田 遥香¹⁾、神野 仁寿¹⁾、長岡 三樹矢¹⁾、和田 悠吾¹⁾、大元 謙二¹⁾

¹⁾愛媛大学医学部附属病院

【背景】

今年度、当院に走行方式が従来のモータードライブ式からキャスター式に変更された新たなポータブル装置が導入された。

本装置は、県内では導入されている施設が少ないということもあり、実際に導入後の使用感や経験についての報告を行う。

【目的】

新しく導入されたキャスター式のポータブル装置と従来のモータードライブ式のポータブル装置をアンケートを用いて比較検討を行った。さらに走行方式が異なるポータブルがどのような場面・場所での使用が有用であるかを検討した。

【使用機器】

- CALNEO AQRO(FUJIFILM社製)
- シリウス130HP(HITACHI社製)
- MobileDaRt Evolution(SHIMADZU社製)

【方法】

ポータブル検査を行う診療放射線技師11人に対して、各装置ごとに下記検討項目①～③のアンケートを実施し5段階評価を行った。尚、3を評価の基準として、滞りなく検査可能を「普通」と評価した。

①走行性について

・直進のしやすさ・後退のしやすさ・左右への方向転換のしやすさ・その場での方向転換のしやすさ・スロープ(上り、下り)のしやすさ・停止のしやすさ・エレベーターの乗り降りのしやすさ・ベッドサイドでの小回りのしやすさ・移動時の体感の重さの10項目。

②操作性について

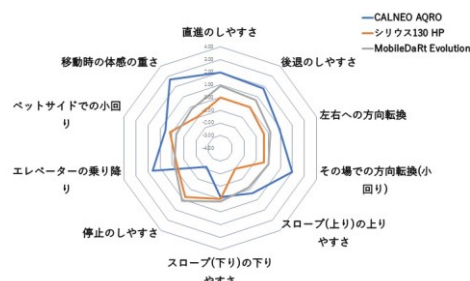
・アームの上下方向のうごかしやすさ・アームの左右方向の動かしやすさ・管球の動かしやすさ・照射野の広がり具合・照射野ボタンの配置の使いやすさ)の5項目。

③その他(撮影に関する項目)

・撮影条件(最大出力)の使いやすさ・臥位撮影のしやすさ・座位撮影のしやすさ・撮影後からの画像の表示速度・予備のカセットの持ち運び方法)の5項目。

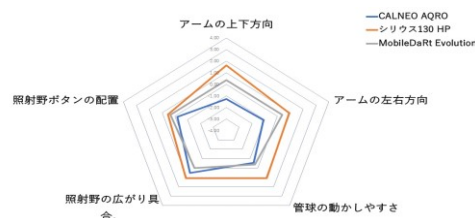
【結果】

①走行性については、CALNEO AQROがほぼすべての項目で、他2台より良いという結果になった。しかし、停止の動作に対しては、他2台よりも劣る結果となった。



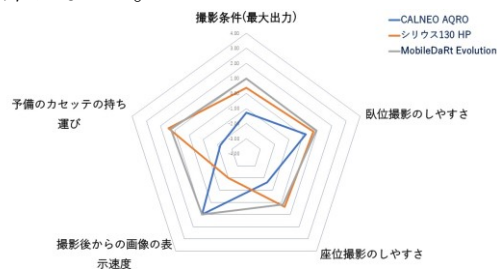
(Fig.1 ①走行性についての結果)

②操作性については、CALNEO AQROが全体的に劣るという結果になった。特にアームの操作性はかなり劣るという結果になった。



(Fig.2 ②操作性についての結果)

③その他(撮影に関する項目)については、撮影条件、座位撮影のしやすさ、カセットの持ち運びの項目が他の2台と比べて、CALNEO AQROが劣るという結果になった。



(Fig.3 ③その他(撮影に関する項目)の結果)

【考察】

①キャスター式になった為、装置本体が軽量化され、移動時の重さや走行性については大幅に改善されたと考える。しかし、急停止が難しく、注意が必要である。②アームの可動域が制限される為、管球を上げた状態でベッドサイドに入るなどの工夫が必要である。照射野ボタン等は経験を積み、慣れが必要である。③座位撮影や高体厚部位には制限があり、追加検査用CRカセットなどが持ち運べないことから、使用方法・使用場所に工夫が必要である。